



# 決算説明会

2024年12月期第2四半期



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

# 岡部グループの事業領域 (2024年12月期第2四半期連結)

## 多角化事業

- 自動車向けボルト・ナット類の販売
- リフトテーブル等の製造・販売
- 海洋資材製品の製造・販売 など



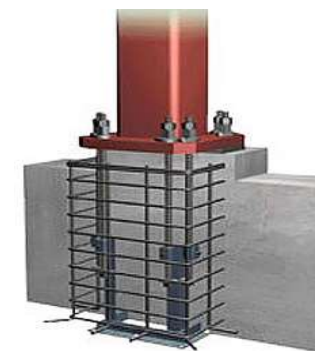
## 建設関連製品事業

<国内>

- 仮設・型枠製品
- 土木製品
- 構造機材製品
- 建材商品

<海外>

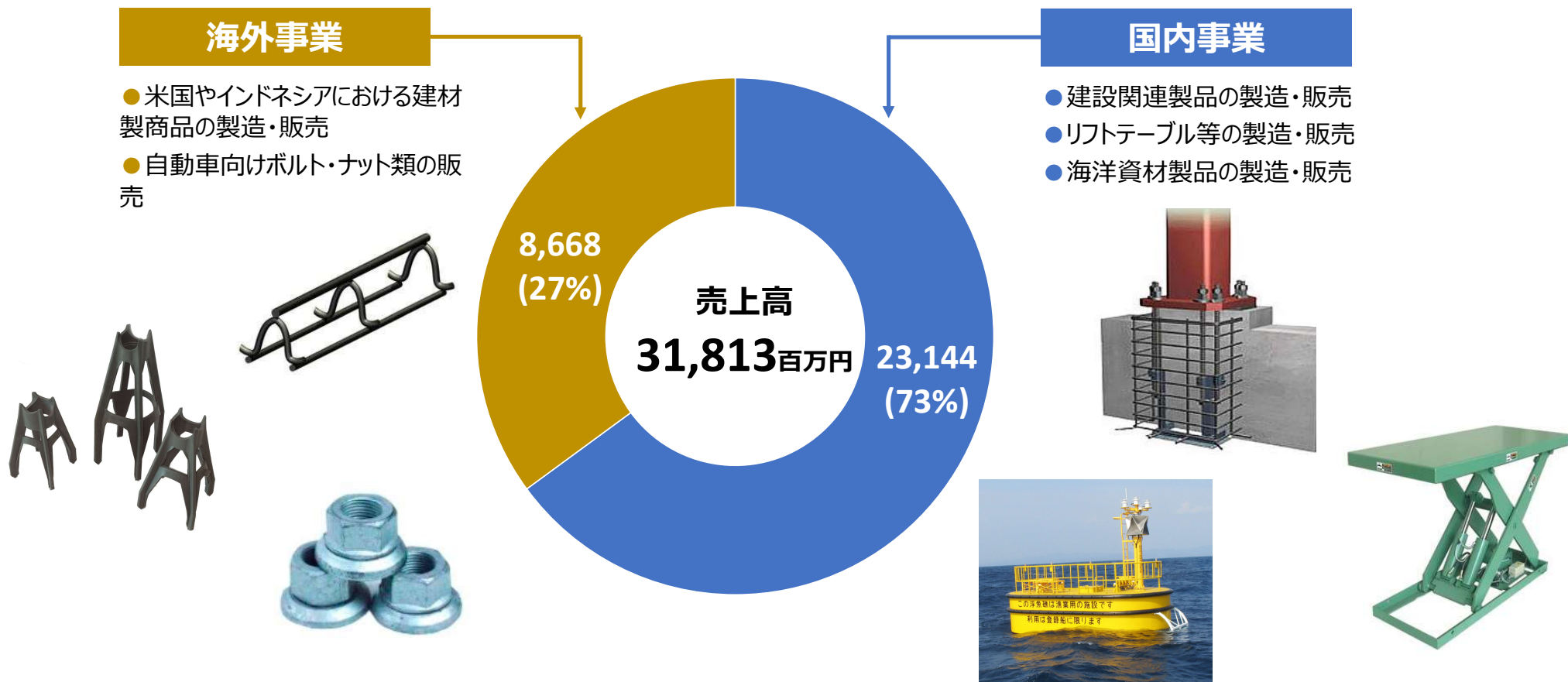
- 建材製商品



売上高  
31,813百万円 29,137 (92%)

2,675 (8%)

# 国内・海外売上比率 (2024年12月期第2四半期連結)

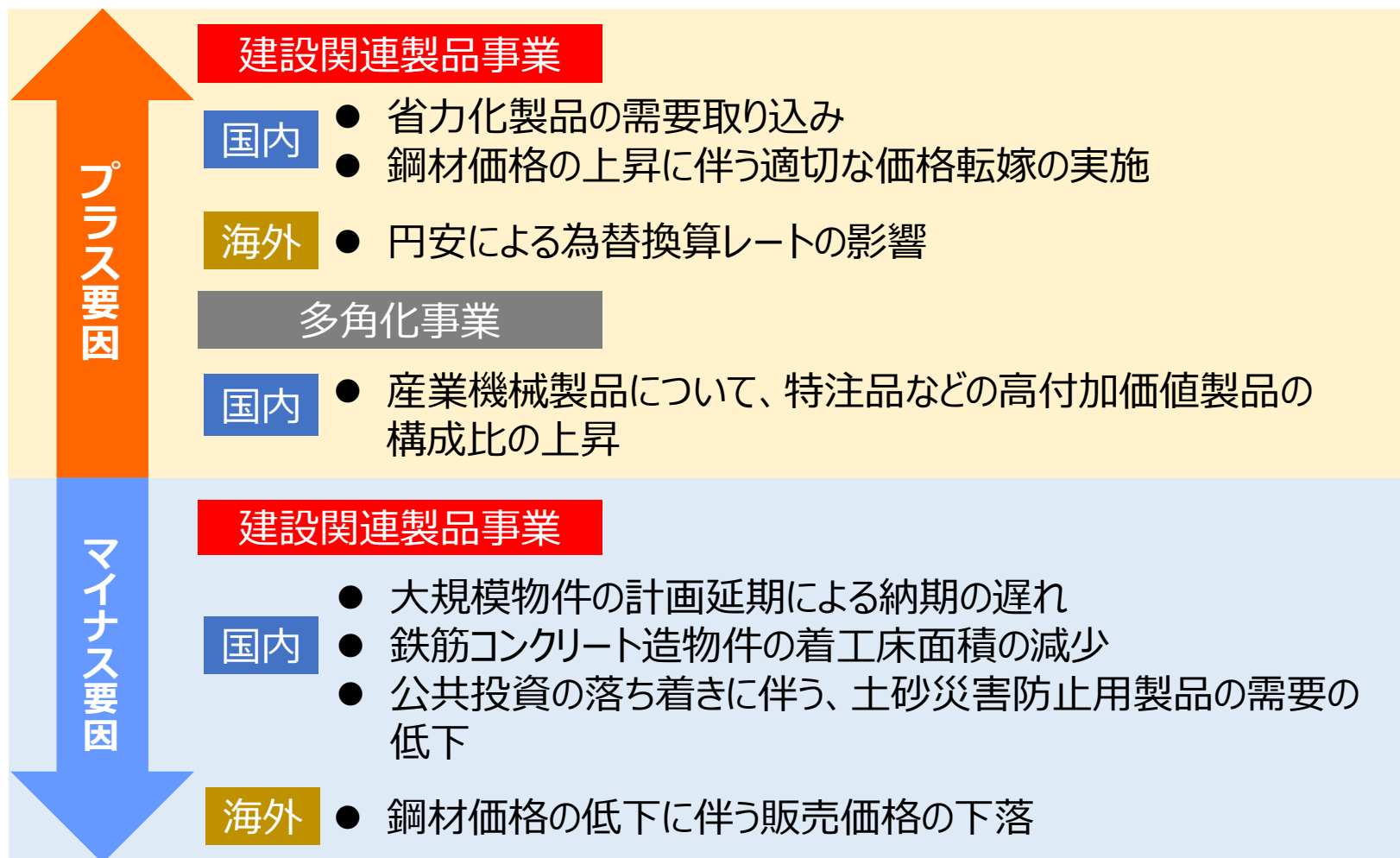


# 本日のアジェンダ

- I. 2024年12月期 第2四半期連結業績概要**
- II. 2024年12月期 通期連結業績の見通し**
- III. Topics**
  - ・中期経営計画「OX－2026」の進捗について

# I. 2024年12月期 第2四半期連結業績概要

# 2024年第2四半期サマリー



# セグメント別・製品別売上高【前年同期比】

(単位：百万円)

	2023 2Q累計	2024 2Q累計	増減額	増減率	
建設関連製品事業	仮設・型枠製品	3,551	<b>3,376</b>	△175	△4.9%
	土木製品	3,525	<b>3,076</b>	△449	△12.7%
	構造機材製品	10,002	<b>9,928</b>	△74	△0.7%
	建材商品	5,957	<b>5,310</b>	△647	△10.9%
	建材製商品(海外)	7,941	<b>7,446</b>	△494	△6.2%
	当事業計	30,979	<b>29,137</b>	△1,841	△5.9%
多角化事業	7,042	<b>2,675</b>	△4,366	△62.0%	
合計	38,021	<b>31,813</b>	△6,208	△16.3%	

※1 主に自動車関連製品(バッテリー端子製品等)の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

※2自動車関連製品事業の規模が縮小したことから、2024年度より同事業を多角化事業に再分類したため、2023年度についても変更しております。

# セグメント別営業利益【前年同期比】

(単位：百万円)	2023 2Q累計	2024 2Q累計	増減額	増減率
建設関連製品事業	1,983	1,552	△431	△21.7%
多角化事業	59	218	159	268.4%
合計	2,042	1,770	△272	△13.3%

※1 主に自動車関連製品(バッテリー端子製品等)の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス, Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

※2自動車関連製品事業の規模が縮小したことから、2024年度より同事業を多角化事業に再分類したため、2023年度についても変更しております。



# 連結業績概況 【前年同期比】

(単位：百万円)	2023 2Q累計	2024 2Q累計	増減額	増減率
売上高	38,021	<b>31,813</b>	△6,208	△16.3%
営業利益	2,042	<b>1,770</b>	△272	△13.3%
(営業利益率)	5.4%	<b>5.6%</b>	—	—
経常利益	2,074	<b>1,934</b>	△140	△6.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	△116	<b>1,339</b>	1,455	—

※主に自動車関連製品(バッテリー端子製品等)の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

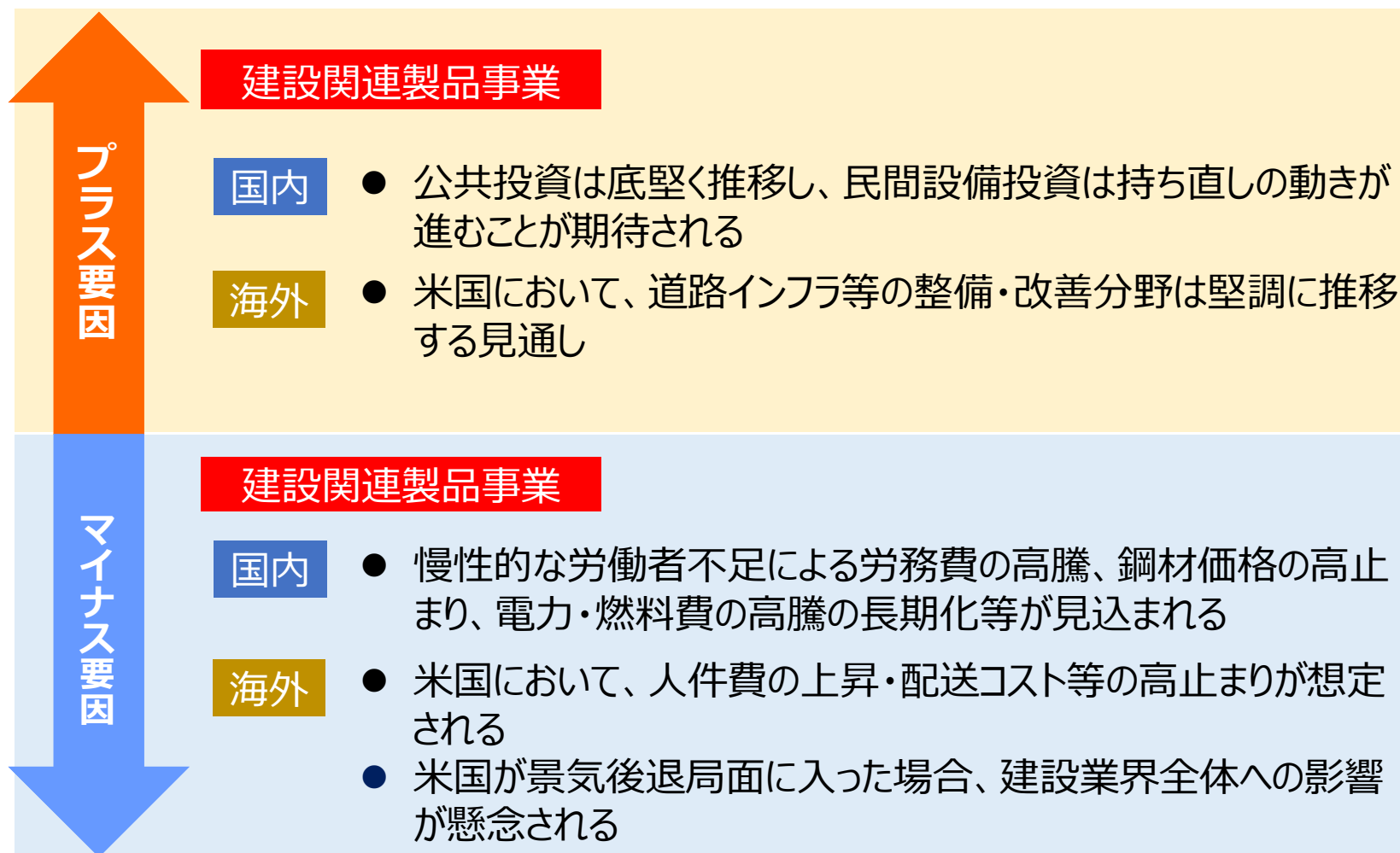
## 連結財政状態 【前年同期比】

(単位：百万円)		2023 期末	2024 2Q累計	増減額
資	産	89,885	<b>88,658</b>	△1,226
負	債	27,824	<b>24,726</b>	△3,097
(有利子負債)		6,918	<b>6,214</b>	△703
純	資 産	62,060	<b>63,932</b>	1,871
自己資本比率		69.0%	<b>72.1%</b>	+3.1Pt

---

## Ⅱ. 2024年12月期 通期連結業績の見通し

# 2024年度下期の見通し



## 下期 セグメント別 事業状況の見通しについて

### 建設関連 製品事業

国内：(仮設・型枠製品)販売戦略の強化による拡販を想定  
(土木製品)土木製品の需要の一巡による影響はあるものの  
災害復旧工事案件の需要取込みに注力  
(構造機材製品)杭頭製品や柱脚工法製品の販売強化を想定

海外：(米国)鋼材価格低下に伴う販売価格下落の影響はあるものの  
建材製商品のさらなる拡販、為替効果によるカバーを想定  
(インドネシア)店舗立上げフェーズにおける需要取込みを想定

### 多角化 事業

自動車関連：ボルト・ナット類の販売強化を想定

産業機械：設備投資動向の回復やシェア拡大を想定

海洋資材：大型浮魚礁の拡販を想定

# 下期 アクションプラン

## 全社の方針

- ・中期経営計画「OX-2026」の加速
- ・事業環境の変化やリスクを機会ととらえ、国内外のマテリアリティ（重要課題）にソリューションを提供、経営リソースを集中し、サステナビリティ経営の推進を目指す

## 建設関連製品事業

### 国内

- 現場における脱炭素・SDGs に貢献できる製品の提案強化
- 顧客ニーズの発掘と共有によるソリューションの提供
- 建設業の労働時間制限に対応する省力化製商品の販売強化
- Slack・Salesforce・営業支援ツールを活用した業務プロセスの改善

### 海外

- 米国でのメーカー展開による建材製商品のさらなる拡販
- 営業基盤の強化（シカゴ倉庫拡張）
- インドネシアでの新規事業の着実な進捗、市場ニーズの取込み

# 2024年度通期連結業績予想

(単位：百万円)	2023 通期実績	2024 通期予想	増減額	増減率
売上高	78,152	<b>70,000</b>	△8,152	△10.4%
営業利益	4,082	<b>4,100</b>	17	0.4%
(営業利益率)	5.2%	<b>5.9%</b>	—	—
経常利益	4,303	<b>4,400</b>	96	2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	△5,472	<b>2,800</b>	8,272	—

※主に自動車関連製品(バッテリー端子製品等)の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

# 2024年度通期セグメント別・製品別売上高予想

(単位：百万円)		2023 通期実績	2024 通期予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	仮設・型枠製品	7,288	7,300	11	0.2%
	土木製品	7,428	7,500	71	1.0%
	構造機材製品	20,450	21,000	549	2.7%
	建材商品	11,799	11,300	△499	△4.2%
	建材製商品(海外)	17,160	16,300	△860	△5.0%
	当事業計	64,128	63,400	△728	△1.1%
多角化事業	14,024	6,600	△7,424	△52.9%	
合計	78,152	70,000	△8,152	△10.4%	

※1 主に自動車関連製品(バッテリー端子製品等)の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

※2 自動車関連製品事業の規模が縮小したことから、2024年度より同事業を多角化事業に再分類したため、2023年度についても変更しております。



# 2024年度通期セグメント別営業利益予想

(単位：百万円)	2023 通期実績	2024 通期予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	4,066	3,530	△536	△13.2%
多角化事業	16	570	553	3,369.5%
合計	4,082	4,100	17	0.4%

※1 主に自動車関連製品（バッテリー端子製品等）の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

※2 自動車関連製品事業の規模が縮小したことから、2024年度より同事業を多角化事業に再分類したため、2023年度についても変更しております。

# 株主還元方針

## 方針

株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、資本効率の重要性を認識するとともに、財務体質の健全性を維持した上で、業績に応じた利益配分を行うことを基本とし、配当性向 30%以上を目安として、併せて、自己資本配当率（DOE）に留意し、持続的な成長の実現等により配当水準の安定的な向上を目指すことを基本方針とする。

## 配当

中間・期末（年間2回）

## 自己株式の取得

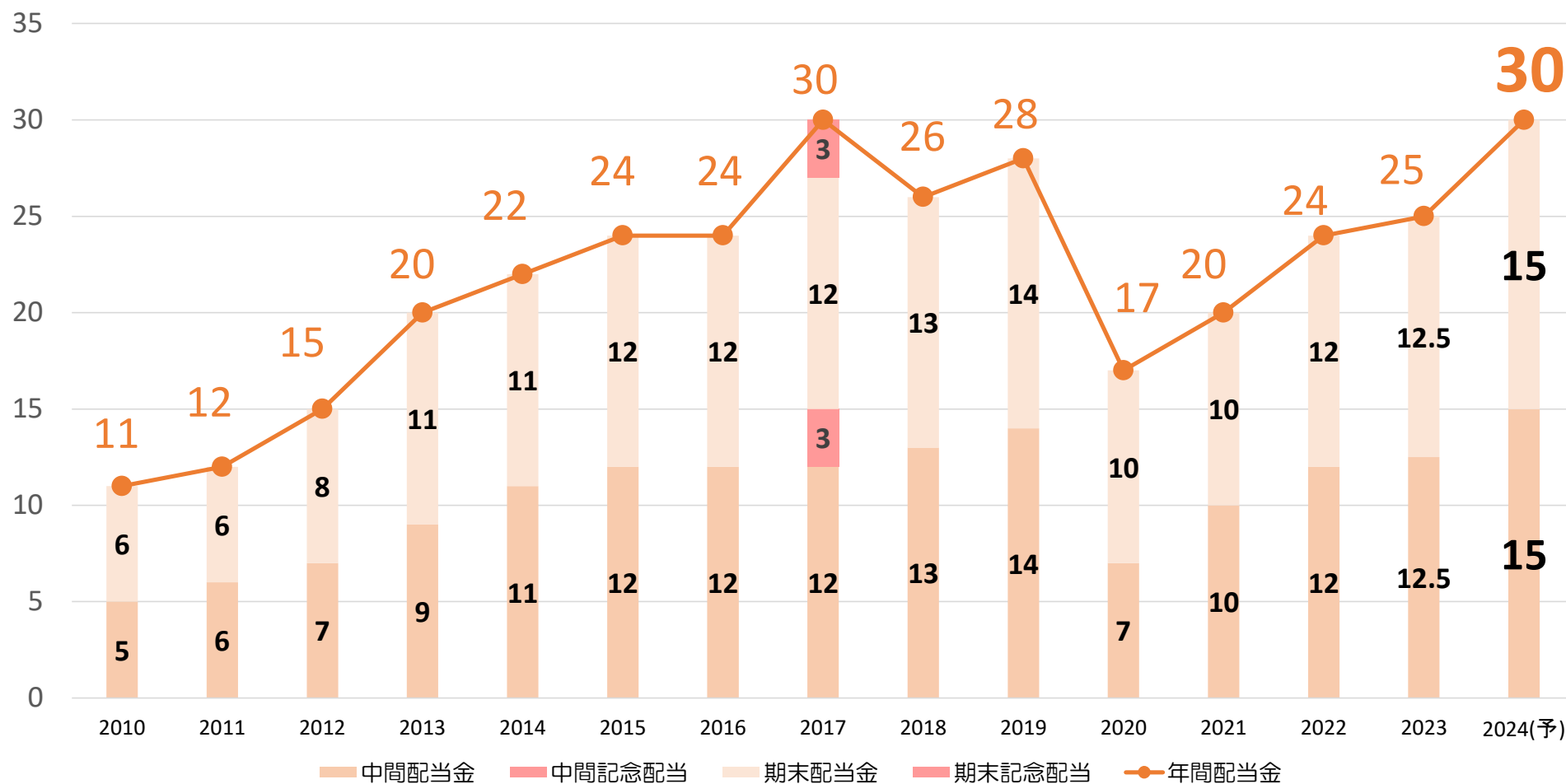
株価の水準と機動的な資本政策等遂行の必要性、財務体質への影響等を考慮したうえで、総合的に判断して、適宜実行

## 株主還元 -配当について-

	2022	2023	2024(予想)
1株当たり 当期純利益(円)	81.30	△118.22	<b>60.65</b>
1株当たり 配当金額(円)	24.00	25.00	<b>30.00</b>
連結配当性向	29.5%	—%	<b>49.5%</b>
自己資本配当率 (DOE)	1.8%	1.8%	<b>2.2%</b>

# 配当単価の推移

(単位：円)



# 資産収益性について

## 方針

キャッシュフローの適切な配分（成長投資・株主還元・内部留保）により、資本コストを意識して持続的な企業価値の向上を目指す

(単位：百万円)	2022	2023	2024 (予想)
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	3,848	△5,472	2,800
純 資 産	63,740	64,586	62,768
R O E	6.0%	△8.5%	4.5%

※純資産の数字は期中平均を使用しております。

---

### Ⅲ. Topics

- ・中期経営計画「OX－2026」の進捗について

## BUSINESS

建設関連製品  
事業

多角化  
事業

## STRATEGY

人的資本経営の実践  
経営基盤の強化

カスタマー・  
セントリック

DXの  
更なる推進

## VISION

これまでも、そしてこれからも

建設を支える耐震建材メーカーとして培った

**「創造力」×「つなぐ力」×「人の力」**で

世界中の人々の生活に安全・安心を提供する

グローバル・ソリューションプロバイダー

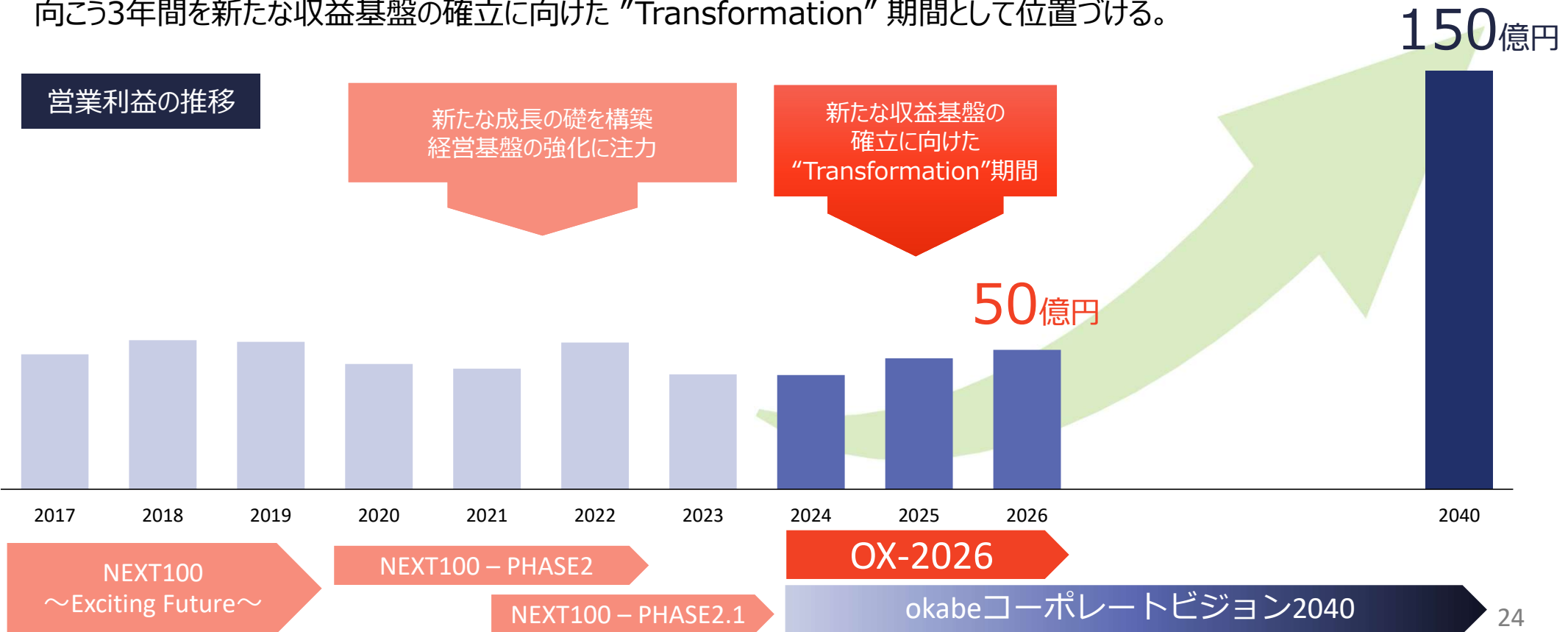
### 重点的に取り組むSDGs



# 新・中期経営計画の位置づけ

okabeコーポレートビジョン2040の実現に向けて

企業価値の持続的成長を目指し、外部環境の変化に機敏に対応しながら、利益水準を維持するとともに、向こう3年間で新たな収益基盤の確立に向けた“Transformation”期間として位置づける。





# 中期経営計画「OX-2026」の進捗状況 – 事業戦略の骨子

## カスタマー・セントリック

(顧客が抱える課題を最優先で解決するための体制整備と取組みの実施)

- ◆ 顧客・社会の課題を解決する新製品の開発・新規事業の創出
- ◆ 国内建設に特化した商品企画室の新設
- ◆ 北米・ASEAN市場に適したソリューションの提供による建設事業のグローバル展開加速
- ◆ 海洋事業におけるブルーカーボン事業開始

## DXの更なる推進

- ◆ 基幹システムの刷新、業務プロセスの改革
- ◆ DXの推進による、顧客への新たな付加価値の提供
- ◆ 情報集約・連携強化による次世代への技術・ノウハウの承継
- ◆ IT戦略室の新設

## サステナビリティ経営の推進(進化)

国内外のマテリアリティ(重要課題)にソリューションを提供し、持続的な成長を図るため、事業ポートフォリオの見直しも含めて経営リソースを集中する。

## 人的資本経営の実践と経営基盤の強化

- ◆ 人的資本を中心とした非財務KPIのチャレンジングな設定及び目標の達成
- ◆ 海外子会社ガバナンスの改善

# 中期経営計画「OX-2026」の進捗状況 - 事業戦略

## カスタマー・セントリック：建設関連製品事業（国内）

### 仮設・型枠製品

- ◆ 当社の原点である分野の再構築を図り、現場の省力化に貢献

### 構造機材製品

- ◆ 付加価値・顧客満足度の向上により“選ばれる製品”を目指す

### 土木製品

- ◆ 「のり面総合資材メーカー」を目指す

# 中期経営計画「OX-2026」の進捗状況 - 事業戦略

## カスタマー・セントリック：建設関連製品事業（国内）

「型枠一本締め工法®」の拡販による、ユーザーの省力化ニーズへの対応

Before



After



本数減、重量低減、歩掛向上  
CO2排出量の削減、環境負荷の低減

# 中期経営計画「OX-2026」の進捗状況 - 事業戦略

## カスタマー・セントリック：建設関連製品事業（米国）

製品ラインアップの拡充・供給機能の強化により、旺盛な米国の建設需要を獲得

- ◆新倉庫の活用による、物流機能の強化
- ◆新工場稼働による、省力化に貢献する製品の開発・生産強化
- ◆仕入先メーカーとの連携強化による、商品ラインアップの充実

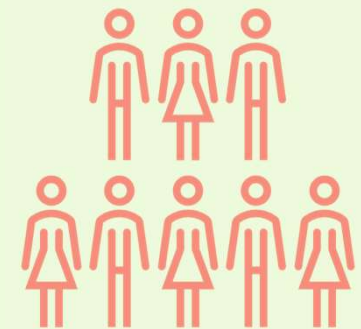


# 中期経営計画「OX-2026」の進捗状況 - 事業戦略

## 人的資本経営の実践と経営基盤の強化

エンゲージメントを向上させ、「一生を託して悔いることのない職場」を実現

- ◆待遇見直し(5%以上の賃上)、福利厚生の充実による働きやすい労働環境の実現
- ◆新たな採用チャネルの創出(リファラル・アルムナイ)、  
シニア人材活用等による多様な人財の確保
- ◆研修プログラム充実による成長機会の確保
- ◆「ホワイト500」認定取得に向けた、健康経営の一層の推進



# 中期経営計画「OX-2026」の進捗状況 – 事業戦略

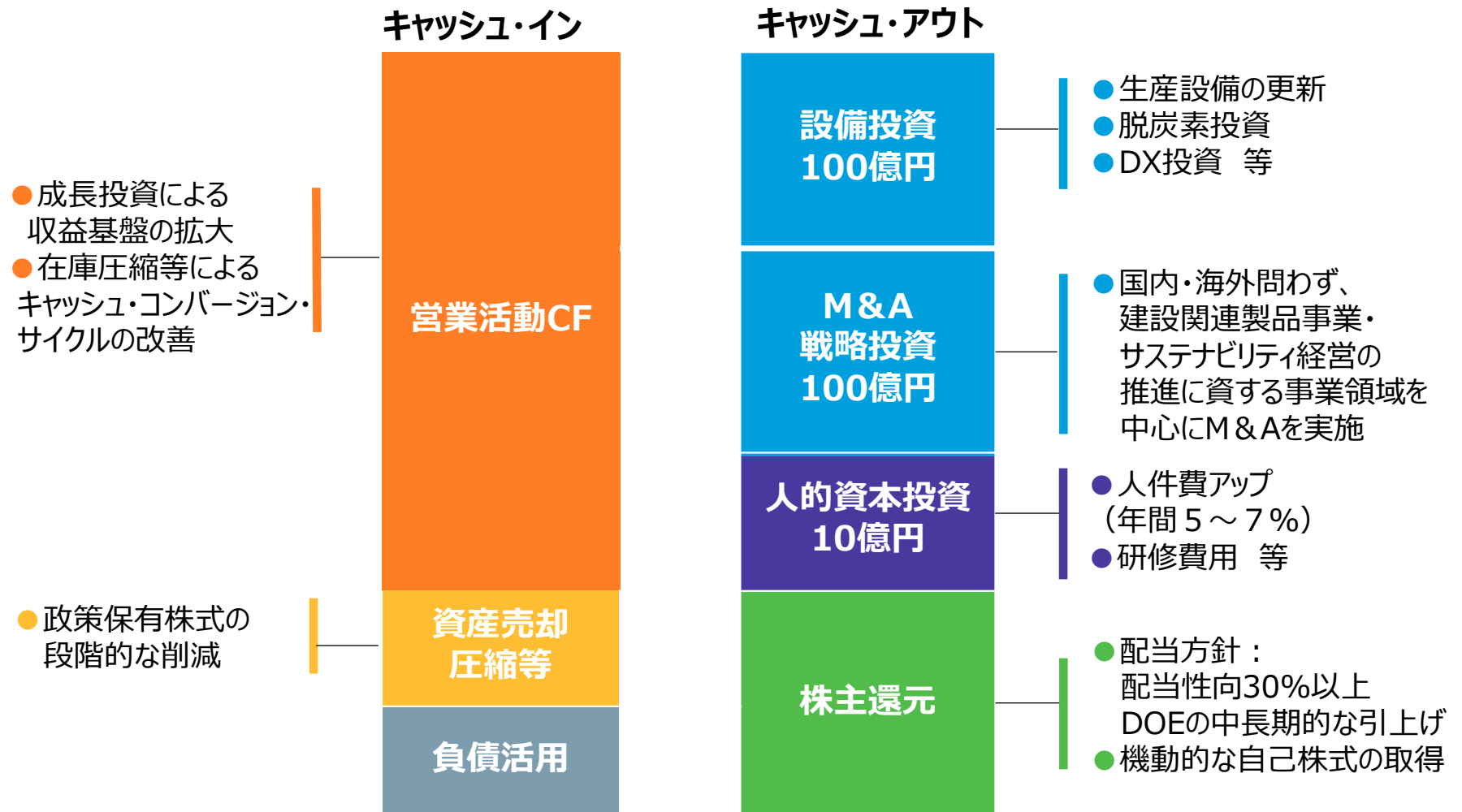
## DXの更なる推進

### 基幹システムアップグレードによるビジネスプロセスの革新

- ◆データ分析機能の強化によるデータドリブン経営の実現
- ◆受発注業務の効率化による顧客対応力強化
- ◆在庫管理の強化による適正在庫の維持及び収益の改善  
(⇒ROICの向上)
- ◆AIによる業務サポートを活用した作業の効率化、精度向上



# 中期経営計画「OX-2026」の進捗状況 – 投資計画





# 決算説明会

2024年12月期第2四半期



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。